



氏家秀太



とうとう9月30日、家庭系ごみの1部有料化がなされた。翌日10月1日には、消費税が10%に増税されるなど、家計を苦しめる2大愚策が実行されてしまいました。

家庭系の指定有料ごみ袋と個別収集を導入されたが、直ちに撤回されるべきである。

本来その狙いはごみの減量化であったが、その有効性や導入までのプロセスの重大な欠陥がある。

そもそも座間、綾瀬2市と高座清掃施設組合を組織

2019年 海老名

氏家秀太(うじけしゅうた) 海老名の大改革

家庭系ごみの有料化の撤回!

しかしながら、新焼却炉の1日当たりの焼却能力は計245トン。旧炉の7割程度と設定したことが最初の躓きだ。将来の人口を増やそうと市政の政策は掲げているにも関わらず、ごみの減量対策は、ほとんど無策であったといえよう。ごみの減量にも取り組むことを見込んで3市で決めたはずなのにである。

そのうえ、この減量方法を巡って、3市の考えにずれ違いが発生した。海老名は減量のため、今秋から家庭用ごみの有料化と戸別収

する海老名市の現市政が中心となり、焼却能力を年間焼却量を25万トンに設定し、旧焼却炉は稼働20年以上と老朽化したため、新しい焼却炉2棟を2015年から建設。18年10月から試験運転を開始した。

集を始めることを決めた。1リットルあたり2円という市民をバカにしたような価格設定をした。

座間、綾瀬両市にも有料化の導入を呼びかけ、「3市が共同で(有料化を)進めると5年たつてもできないが、1市にならできる」と

家庭ゴミ 有料化の 撤回!!

これに対し座間、綾瀬両市は反発し、綾瀬市の古塩政由市長は「1人当たりのごみの量が県内で一番少ないのは座間、2位が綾瀬。1、2位が市民に負担してもらってまで減量する必要はない」と主張。企業や飲食店などの「事業系ごみ」の削減が先だと訴えたことも記憶に新しい。

家庭系ごみの有料化で主な問題点は3つある。

1つは、上記に述べた通り、焼却能力の設定ミス。

2つ目は、人口が増える政策(実際には30年1月の

調査では0.56%増と近隣の市と大して変わらず増加していないが)を掲げているにも関わらず、この10年効果的な対策は実施されなかった。

3つ目は西口の現市政の無

策による西口開発により事業用ごみが増えたことである。事業用ごみが増えているのにも関わらず、家庭系ごみの有料化によって解決しようとする筋違いを行っている。

また、そのプロセスにも問題がある。6000以上も署名を集めても、高齢者



このように、海老名市の家庭系ごみの有料化は、ただちに撤回すべきである。2円/ℓと高額にし、個別回収(制度も未熟で余分な費用がかかる)をすることで、市民がごみを減らすだろうという強固な裏付けのない姿勢と筋違いな方法ではその有効性も疑問が残る。なによりもプロセスに欠陥がある以上、この有料化の効果はいずれ破綻することとは明らかである。有料化の効果も当初はあるが、数年後には効果が薄れるという例は山ほどある。市民の理解が得られていない、海老名では有

海老名のリサイクル率は高く、2市と比べても家庭系ごみの量は減っている。

海老名と同等である。海老名だけが有料化する理由はどこにもないのである。綾瀬市や座間市は同じ焼却炉を使用しても無償である。実際には、海老名のリサイクル率は高く、2市と比べても家庭系ごみの量は減っている。

すなわち、海老名市の家庭系ごみの有料化は現市政の失敗を、我々市民に押し付けた、天下の愚策である。

実は、3市では企業進出が進んだこともあり、事業系ごみが増えている。決して海老名だけの話ではない。特に座間では10年度から17年度までで75%増加。綾瀬も25%増え、海老名と同等である。

の方々各市役所でスタンディングをしても門前払いするような現市政であるから、当然に市民とごみを減らす、家庭系ごみの有料化についてはほとんど話し合われる機会もなく、また検証する機会さえもなかった。他の市町村では家庭系ごみの有料化をする場合は、20回も30回も市民との話し合いや検証が行われる(図1)

海老名中央図書館の運営方法の見直し
など、「まやかし&しがらみ政治の象徴の公共事業の大改革」 → **市長の5選反対!**
無駄な事業・経費を削減し、高齢化対策、教育対策に投資



料化の効果は早い段階でその意味は失われるだろう。有料化とごみを減らすことは、1度リセットし、切り離す必要がある。ましては、10年後、20年後を考えた時、今回の有料化では決して、ごみの問題は解決できないであろう。

そもそも、有料化はごみを減らす決定的な方法ではない

ごみを減らす、代表的な方法は

- 1、有料化
- 2、家庭系ごみの排出量が最小となる分別数を設定する
- 3、広域化計画

である。海老名市の現市政は、1を行ったが、3を破壊し、2は検証すらしていない。

1の有料化については、先にも述べたが、その効果は長続きしないという研究結果は、各研究機関から発表されている。あくまで、有料化は、一時しのぎ的な意味合いも強い。ただし、2や3の方法や、またごみを減らす取り組みを無しに、いきなり有料化を行った海老名市は、とても近い将来への不安要素を抱えているといえる。例がないほどだ。

2については、近隣の市が比較的的成功している方法である。分別収集しなければならぬごみの種類を規定し、適切な分別数の選択と特定のごみの分別の義務化を行い、従来の制度を見直すことで、家庭系ごみの排出量削減が促進されるということである。

明治大学の研究では、18.333にごみを分類することが一番ごみを減らせるという研究結果も発表されている。18をも分類するのはいささか大変ではあるが、なるべく現状の分別より、少し増やすだけでも、ごみを減らす意識だけでなく、実際の焼却炉にあった焼却効率を追求していくことができるのである。

3については、現海老名市政は、とりかえしのつかないことをしてしまっただろう。座間市

と綾瀬市とのブロック連携を自ら破壊してしまった。ごみ処理広域化に伴い、ブロック化された地域では同一のごみの回収方法が採用され、分類数もまた一定の地域で統一されることから、ごみ処理広域化の効果は、今、ごみの減量化については、とても重要な政策である。分別数を統一することがごみの排出量に影響を及ぼす。ごみ処理広域化計画は、ごみ排出量の増大に伴う最終処分場の確保が難しくなっていること、リサイクルの必要性が高まっていること、ダイオキシン類等の発生対策による環境保全の必要性によって策定されるもので、その取り組みの重要性と効果は、既に日本各地で実証されている。

神奈川県海老名市で2019年4月に本格稼働した新たなごみ処理施設に絡み、関係する海老名、座間、綾瀬の同県3市で不協和音が出ている。ただちに、有料化を撤回し、3市による広域計画を早急に確立しなければならぬ。

このように、家庭系ごみの一部を有料化することは、直ちに撤回しなければ、ごみの削減においても、もはや手遅れになる。

いままで、市民の声を聞こうともしない、市民の心に1mmとも向いていない現市政では、ごみの問題は大きくするばかりである。いよいよ我々市民の手で、有料化の撤回をする時がきているように思う。

中央図書館の運営方法の見直しを！ 「まやかしがらみ市政の無責任な暴走」

2015年10月1日中央図書館がツタヤ コンビニ エンス カルチャリー (CCC) を指定管理者としてリニューアルオープンした。市民の皆さんは寝耳に



水だったのでは？なんと1階のメイン・ビル内の一等地にはなんとスターバックスとツタヤ書店が入っている、まったくの営利に使用されてきたのだから、びっくりされた人も多かったのでは。新しい形の図書館と宣伝されているが、図書館は商業施設でも娯楽施設でもない。

まず改修工事費、海老名市は11億円全額を負担、先例の武雄市の場合は改修費用のうち市は4億5千万、CCC社(ツタヤの系列会社)が3億円と館内で営利目的の売店を設置するため指定管理者にも応分の負担をさせている。しかし、中央図書館は改修工事費全額を市民の税金で負担したにもかかわらず先に述べた通り、図書館の1Fの一等地、正面左にスターバックス、右にはツタヤ書店、そして奥の小スペースに図書館本の陳列と、新聞が陳列されるとされている。あきれられるばかりである。

つまり、建物の最高場所を民間商業スペースが占拠、バックスの組み合わせは、他市では普通に民間のみで運営されている。無理にツタヤとスターバックスを誘致したいがための、短慮なやり方としか言えない。この為に巨額の血税が投じられているのは納得できない。

このリニューアルオープン前から議会の一般質問で中央図書館のリニューアルに関して市民には公表されていない新事実が暴露、ツ

託) 1億6308万円が2014年度指定管理にあって3億0694万円に倍増している。理に合わない。現在も1億9000万円近くと無駄な管理費が支払われている。

まやかしがらみ市政を排除し 海老名のアイデンティティをとり戻せ！

もはや中央図書館をはじめ、現市政の政策は、しがらみと疑惑のデパートだ。選定の為の第三者委員会は外部の人は2名だけしかも専門家ではない。

来館者が増えた、貸し出し数が増えたと聞こえのいいことばかり言うが、そもそも数で評価するものではない。アンケート結果が良いからであるが、ツタヤ作成でしかも来館者にとついているのだから、結果が良い方向に傾くのは当然である。

市民の声とは言い難い。ツタヤは図書館の専門ではない。佐賀県武雄について海老名は2件目だが、やはり図書館運営のノウハウは無い。しかもTカードの個人情報使用している疑惑も尽きない。

なぜ、このような状況を続けるのか。そんなに無駄な施設でもつくる必要があったのか？市民以外の誰かが得をする。しがらみだらけだ。単に、ツタヤとスターバを誘致するのにここまでしないといけないのなら、市政の能力はゼロである。このままでは、知の貯蔵庫



海老名市はそのために11億円全額を税金で負担している。その後の、指定管理費も経費節減のためと言うが2013年度(単独業務委

が犠牲になる。

不祥事が続出した中央図書館

武雄市図書館で、CCCが蔵書として大量の古本を購入していたことが発覚。選書リストを点検したところ、約8000冊のうち半数の4000冊近くが料理本であることが判明。それらの付録として「メガネ拭き」「おろし金」などが見つかったから驚きだ。さらに海外の風俗ガイド本まで...

一般的な図書館(十進法)とは異なるCCC独自の「ライフスタイル分類」による図書配架をしている。分類法が「海老名分類」などと揶揄されている。『旧約聖書・出エジプト記』や『カ... ラマーゾフの兄弟』が「旅行」

このように、現在の海老名市政が関わる公共事業、公共施設は、無駄な経費が垂れ流しである。稼働率が低いスポーツ施設のプールを使用する為に、学校のプールを廃止するなど、教育を今の市政はどう考えているのか。ただちに、無駄な公共事業を見直し、その削減できた費用を、

氏家が主張する3大投資(P4)に充てるべきである。

「市長の5選は断固として許すな！」

活力は、市民の皆様と活カある海老名の実現に全力！市政停滞の原因は、市長の多選が原因である！無駄な事や経費は削減、改善する。

海老名の市政は、成長、幸せの2つのキーワードで言えば「失われた16年間です」

でも、なんとなく現状維持で、まあまあじゃないの？海老名は！

海老名にいとそんな風に感じるのかもしれない。

現実の数字を見れば一目瞭然！例えば失業率5.8パーセント超！県内でも悪い方！市長の給料は県

でなんと7位！
首長給料 全国全地域 (1,750地域中)..
230位神奈川県内(33地域中)..
7位人口増
転入者数
完全失業率全国全地域 (1,958地域中)..
1,134位神奈川県内 (61地域中)..
27位

女性の社会進出、少子化対策も全く改善進歩がみられません！

平成30年度 待機児童数 保留数併せて181人
ここ10年でやや増加傾向にある他と比べれば海老名の指数は下位で後退です。

氏家秀太が考えるお約束



1. マンネリ市政による幸せの停滞 閉塞感を叩き出す…活力は、市民の皆様と活力ある海老名の実現に全力。市の停滞は市長の多選にある。

- 1 市長の5選は断固として許すな！ 市政停滞の原因は市長の多選が原因である！ 無駄な事、経費は削減、改善する。
- 2 「行政3.0」チャレンジとして、新しい行政のサービスのあり方を追求し、実施する
- 3 間接業務のIT化、またAIサービスの導入など、効率性と革新的変化を追求し、楽しさを追求する
- 4 財政の見直し
- 5 海老名市立図書館の運営費の見直し（無駄な公共施設の撤廃・運営見直し）
- 6 市長多選自粛条例の制定（大和市と厚木市と同じに！）
- 7 家庭系ごみの有料化の撤廃
- 9 市長の給与減額

2. 貧困と格差をなくす…「いかなるところでも全ての形態の貧困を終わらせる」

- 2 最低限の基準を含む適切な社会保障制度及び対策を実施し、2030年までに貧困層及び脆弱層に対し十分な保護を達成する。
- 4 貧困撲滅のための行動への投資拡大を支援するため、市、地域レベルで、貧困層やジェンダーに配慮した開発戦略に基づいた適正な政策的枠組みを構築する。
- 5 ひとり親家庭の支援、教材費負担困難家庭への支援

3. 低欲望社会からの脱却 / 産業と技術革新の基盤をつくる…

- 1 ただ、箱を作ればいい、商業施設を作ればいいというところからの脱却
- 2 海老名ルネッサンス 海老名ダイバシティの実現
- 3 市長が海老名のTOP 営業マンとして地元の中小企業や商店街の活性化。
- 4 事業継承の具体的な支援策の策定
- 6 海老名コイン制度（仮称）により、高齢者優遇買物制度を創設
- 7 市民の雇用創出の実現へ
- 8 海老名まるごとWi-Fi化
- 9 海老名アプリの開発

4. 文化を感じる街 海老名ルネッサンス事業

- 1 住宅デザインの海老名デザイン力UPの推進諸政策（街並み美観化事業）の実
- 2 建築デザイン街並みデザインの共通化
- 3 建築業者の研修 コンテスト 助成金制度の導入 地元の大祭り 海老名阿波踊りの実施

5. アクティヴシニア期間の充実

- 1 アクティヴシニアパークの建設 高齢者レジャー施設の充実を図ります
- 2 市外から老後は海老名にきたいと思える総合福祉型住宅地域の建設・創出
- 3 地域の中で安心して医療を受けられる一貫した医療提供体制を確保
- 4 高齢者向けレジャー施設をつくる

- 5 交通手段の見直し（コミュニティバスのルート拡大）
- 6 介護施策、介護事業の市の担保化
- 7 高齢者の仕事・ビジネス支援

6. 議会と基本自治の未来志向型改革の推進…

- 1 市民との情報共有
会議録の完全公開
議案・議題関連資料の事前公開
動画の公開等
SNSの利用促進
- 2 政務活動費のチェック
- 4 住民参加の機会増加
傍聴・利用をしやすい
参考人招致・公聴会の機会を増やす
市民の意見を反映させるシステムをつくる
- 6 市民との対話の場の開催
- 8 自治基本条例の見直し

7. 海老名の製造物、のブランディング…

- 1 皆さんが大切に育ててくれた、農作物や製造業の巧みな技術でつくってくださった製品を氏家秀太の情報発信力でブランド化させます。
- 3 海老名産（エビメイサン）の登録認定制度の導入、ブランド力の強化
- 4 経営支援の各施策の実施
- 5 商店街 働き活性化プロジェクトの実施
- 6 海老名のメディアミックス事業の創設

8. 6次産業推進、1次産業の構造強化…「飢餓を終わらせ、食料安全保障と栄養改善を達成し、持続可能な農業を推進する」

- 1 地元産業と第1次産業の活性化とブランド化
- 2 6次化へ向けての設備投資優遇、販路拡大支援
- 3 2030年までに、家族農家、牧畜民をはじめとする小規模食料生産者の農業生産性及び所得を倍増させる。

9. 市民に保健と福祉を、そして安全を…

- 1 「健康な生活を保証し、全ての年齢層の全ての人々の良い暮らしを推進する」医療や介護費用が急増する「2025年問題」に地域補助、相互扶助の仕組みをつくります。
- 3 発達障害児、身体障害者への各支援体制の整備
- 4 農村インフラ、農業研究・普及サービス、技術開発及び植物・家畜のゾーン・バンクとの連携強化投資の拡大を図る
- 5 薬物乱用やアルコールの有害な摂取を含む、物質乱用の防止・治療を強化します。
- 7 高齢者の自動車運転安全装備への支援制度を充実させます
- 9 高齢者向けレジャー施設の設置・導入
- 12 フレイル対策の強化
- 14 各路線のホームドアの推進
- 15 中学校までの医療費無料化
- 16 自校給食、健康給食の実施
- 17 待機児童0の実現 託児所の市の担保化
- 18 若者支援、引きこもりの支援

10. 気候変動に具体的な対策を / 震災への対応を…

- 1 防災対策を一からつくりなおします。災害に強い復興に強い海老名に！ 特定建築物の耐震化率4年で90パーセント以上に
- 2 海老名震災対応アクションプラン2021を2021年までに策定します。
危機管理体制の見直し、避難所の備蓄・備電の改善、耐震ブレイカー、エアコン等の導入
- 5 被災が起きた場合の復興支援策の作成
- 6 近隣市や県との連携体制の確立
- 7 災害時の具体的な行動指針の策定
- 8 市民参加型 相互扶助制度の策定
- 13 震災対策特別委員会の創設
- 17 住宅・学校・病院などの耐震性を備えるための施策を講じる
- 18 内水氾濫対策の強化
- 19 何があっても被災はさせません 海老名からも反原発を訴えます

11. 質の高い教育をみんなに…「全ての人々に、包括的で公平な、良質な教育を保証し、生涯にわたる教育機会を促進する」

- 1 小中学校の施設・設備支援をします
- 2 各学校でのパソコンの導入率の向上
- 3 英語のデジタルテキストの導入をします
- 4 黒板の撤去 デジタル黒板化の推進をします
- 5 ICT化に順次対応
- 6 小中学校の統合に待った！
- 7 学習に関わらず、あらゆるレベルの教育や職業訓練に平等にアクセスできるようにする。
- 8 質の高い教員の数を増やす
- 9 寺小屋制度の導入
- 10 プール再設置の検討
- 11 非効率スポーツ施設の廃止
- 13 校外授業の強化

12. ジェンダーの平等…

13. ダイバシティの推進… 女性が輝ける海老名の実現

- 1 政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参加および平等なリーダーシップの機会を確保。
- 2 子育て支援の環境整備 託児所の市の担保
- 3 女性起業の各支援制度の拡充実施
- 4 **総額1人につき、年間3万円の支給**

14. 生きがいを常に実感…働きがいと生きがいのあがる街へ

15. 若者にチャンスを与えて再チャレンジできる社会を…

- 1 起業支援の拡充
- 2 女性起業支援
- 3 経営者ガイドラインの積極的活用支援
- 4 失敗しても再起する 再チャレンジ制度の創設
- 5 ビジネスアイデアコンテストの実施
- 6 会福祉施設の若者スタッフの技術向上支援および優遇制度の導入
- 7 奨学金の肩代わり

16. 生活シーンを創出する…市内で働く環境を高い次元で実現する。

17. 川の豊かさを守ろう / 陸の豊かさも守ろう…川は美しくきれいであり続ける そして川の氾濫を抑える防災対策を徹底します。

18. 平和と公正をすべての人に…市民として国民として皆さんの間の不平等。そして皆さんと市の間に関する不平等。

- 1 自治会 町内会との連携強化
行政の下請けからの脱却
NPO 法人や専門家との連携強化
自治会主催による防災訓練の実施
行政からの委任事務の協力関係の強化
- 2 自治会 町内会のネットワーク強化
- 7 コミセン等の駐車場有料化はいたしません。

19. パートナーシップで目標を達成しよう…海老名の団結力を高めます

- 1 自治会 町内会との連携強化
行政の下請けからの脱却
NPO 法人や専門家との連携強化
自治会主催による防災訓練の実施
行政からの委任事務の協力関係の強化
- 2 自治会 町内会のネットワーク強化
- 7 コミセン等の駐車場有料化はいたしません。

20. 新質的な経済発展をとげる…包括的かつ持続可能な経済成長及びすべての市民の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する

- 1 停滞市政のムダを徹底的にたたき出す！
- 2 世界初発行のEB コインの導入
- 3 財政の見直し

*一部抜粋

	増数合計	転入者数	出生者数、その他
秦野	6792	5703	1089
厚木	12601	10828	1773
大和	14379	12234	2145
海老名	7325	6279	1049
座間	7787	6781	1006

	歳入総額
秦野	49,450,015
厚木	82,619,979
大和	74,763,903
海老名	39,361,419
座間	41,323,118

(単位：千円)

	全国全地域	神奈川県内
首長給料	230 位 (1,750 地域中)	7 位 (33 地域中)
議員定数	394 位 (1,665 地域中)	13 位 (32 地域中)
平均年齢	1,776 位 (1,956 地域中)	47 位 (61 地域中)
65 才以上割合	1,812 位 (1,956 地域中)	49 位 (61 地域中)
男性平均寿命	153 位 (1,944 地域中)	17 位 (58 地域中)
女性平均寿命	805 位 (1,944 地域中)	38 位 (58 地域中)
犯罪発生率	471 位 (1,946 地域中)	9 位 (57 地域中)
交通事故発生率	560 位 (1,946 地域中)	15 位 (57 地域中)
完全失業率	1,134 位 (1,958 地域中)	27 位 (61 地域中) *県でも悪い方
住宅地標準価格	101 位 (1,782 地域中)	37 位 (57 地域中) *県でも悪い方
外国人比率	345 位 (1,946 地域中)	21 位 (61 地域中)
人口密度	199 位 (1,956 地域中)	34 位 (61 地域中)
総面積	1,527 位 (1,765 地域中)	22 位 (33 地域中)

その為にまずは市長の5選を阻止！から海老名の改革は始まります。

成功事例の紹介やネットワーク形成の支援などを行い、住みやすく暮らしやすいまちづくりを進めます。

市民の活動を支援するため、自主性を尊重しつつ、情報発信、成功事例の紹介やネットワーク形成の支援などを行い、住みやすく暮らしやすいまちづくりを進めます。

海老名の地域に根ざし、特色のある魅力的なまちづくりを進めるための活動を支援するため、自主性を尊重しつつ、情報発信、成功事例の紹介やネットワーク形成の支援などを行い、住みやすく暮らしやすいまちづくりを進めます。

このままでは海老名の将来は不安で仕方ありません。それは、すべて市政の停滞が原因です！だから、市政をリセット！しなればならぬ！リセット！しなければならぬ！

癒着は要らない。まやかしの幸せはいらない。わくわく海老名！市政を市民に取り戻せ！

現状維持や小手先の愚策では、海老名の将来がありません。なぜなら、海老名の現状を見れば一目瞭然です。海老名の各数字、代表的な数字は左の表の通りです。

どうですか？ マスコミで時々見かける住みたい街などの海老名に対するイメージのアンケートでは、意外に人気の街と思われているようですが、このように現実には全く違うのです。

ここ10年の経緯を見ても海老名は決して成長してきただけで、停滞しているのです。停滞は、世界から見たら、後退です。今ある幸せすら保証されていないことと同じなのです。

不安だから、みんなお金を使わず、貯蓄に回す。不安だから新しい事にチャレンジしないのです。

たった今から海老名は変わります。始めないと、もう遅いのです。

これまでの市政も回顧していただき。選挙寸前の小手先・愚策を講じ、それを繰り返してきたことを。開業率だって低迷していません。これを活性化するため官民が連携して、市内の意欲がある人の起業・創業を地域全体で応援していく環境づくりを進めます。多様なネットワークによる支援により、起業・創業段階におけるよりきめ細やかな、そして強力な支援体制を構築します。官民におけるまたあらゆる雇用の場の多様な地域活性化を進めます。

IT、AIやIOTなどを活用した新たなビジネスチャンスの創出、生産性向上のための設備投資などを支援し、市内企業の付加価値・競争力の強化、市民の向上を図ります。



氏家 秀太
(うじけしゅうた)

海老名市に3歳の時に移住。
現在海老名市在住。52歳。
地域活性化プロデューサー、
行動心理学者、経営コンサル
タント、キャスター、ラジオ
パーソナリティとして活躍す
る。海老名に本社があるコン
サルタント会社の社長を務め
る。現在は、海老名の為に、
地域活性化活動を爆進中！

氏家 秀太

**市政を
市民に取り戻せ!**

市長の5選阻止!

**1 家庭ゴミ
有料化の撤回**

**2 海老名中央図書館の
運営方法の見直しなど、
まやかし&しがらみ政治の
象徴の公共事業の大改革**

**3 3大投資の実行
しがらみ投資をぶっ飛ばし
未来の海老名に投資する**

海老名デザイン 主な施策! 11選!

- 1. まやかし象徴のえびな未来創造プランの撤回、見直し
- 2. まやかし政治、しがらみ市政をぶっ飛ばす!

市長の5選阻止! 市長選無投票の阻止

**3. 海老名市立図書館の現状運営方法の
撤廃! 家庭系ごみの有料化の撤廃**

ららぽーと近隣の渋滞を早急に解消!

- 4. 高校までの医療費無料化
- 5. 中学校給食導入+健康給食の実施
- 6. 市長の給料減額!

この減額給料で、ひとり親、給食費用全額負担 教科書購入困難家庭に教科書をプレゼントします!

- 7. 海老名まるごと Wi-Fi 化
- 8. 待機児童0の実現 託児所の市の担保化
- 9. 地元中小企業、第1次2次産業のブランディング&スーパーセール
- 10. 教育の後退化に待った!

英語のデジタルテキストの導入、黒板の撤去 デジタル黒板化、一部デジタル教科書化の推進、IT化に順次対応、小中学校の統廃合に待った! 寺小屋制度の導入、プール設置の見直し、非効率スポーツ施設の廃止、教科書の無料配布、奨学金の肩代わり

11. 少子高齢化のスーパー支援制度の創設

子育て支援の環境整備 託児所の市の担保、女性起業の各支援制度の拡充実 幼児1人につき、年間3万円の支給、社会福祉施設の若者スタッフの技術向上支援および優遇制度の導入 市の担保化、高齢者の自動車運転安全装備への支援制度の充実 高齢者向けレジャー施設の設置・導入 高齢者の仕事・ビジネス支援

1. 私達の子供、若者への「教育への投資」
待機児童0・小中学校の統廃合に待った! プール復活の再検討・郊外活動の支援・不登校支援など教育に投資拡大

2. 地元経済への「地元企業への投資」
・6次産業推進、1次産業の構造強化・海老名ルネッサンス事業の創設
海老名ダイバシティの実現・市長が海老名のTOP 営業マンとして地元の中
小企業や商店街の活性化。・事業継承の具体的支援策の策定・海老名コイ
ン制度(仮称)により、高齢者優遇買物制度を創設・海老名まるごと Wi-Fi
化、建築デザイン街並みデザインの共通化・海老名で大祭りの実施・介護
や製造業でのAI化やロボット導入の推進・音楽イベントの実施・海老名
ルネッサンス事業の創設・住宅デザインの海老名デザインの推進諸政策(街
並み美観化事業)の実施・若者にチャンス 独立支援 ビジコンなどの
チャレンジ制度 女性起業支援

**3. 高齢者の方への「第2の、アクティヴな
人生への投資」**
・高齢者 アクティヴシニアタウン構想の実現・市外から老後は海老名に
来たいと思える総合福祉型 住宅地域の建設・創出・地域の中で安心して
医療を受けられる一貫した医療提供体制を確保・高齢者向けレジャー施設
をつくる・交通手段の見直し(コミュニティバスのルート拡大)・介護施策
介護事業の市の担保化・高齢者の仕事・ビジネス支援